

尾張南支部

武豊町へ寄付 不法投棄防止事業への支援活動

- 日 時：令和4年8月17日（水）午後4時
- 会 場：武豊町役場（知多郡武豊町）
- 出席者：7名

【武豊町】町長 粕山芳輝氏、副町長 近藤千秋氏、生活経済部部長 飯田浩雅氏、生活経済部環境課課長 北河 晃氏、生活経済部環境課課長補佐 榊原一孝氏

【（一社）愛知県産業資源循環協会】

尾張南支部長 金田英和氏、委員 永田喜裕氏

尾張南支部（金田英和支部長）は、武豊町へ不法投棄防止啓発事業及び環境美化啓発事業に貢献されたいとのことから寄付を申し出られ、武豊町役場にて粕山町長ら5名の行政ご担当者の方々と、ウイルス感染防止対策を図り対面で寄付を贈呈されました。

----- 対 談 -----

永田：尾張南支部は金田支部長を中心に、知多半島の5市5町において支部事業を長年行ってまいりました。その中でも恒例の不法投棄防止活動は毎年行政の方と共に実施してまいりましたが、この数年に渡るコロナ禍で開催が困難となりましたので、時世に即した地域への貢献を支部内で検討し、この度、寄付をさせていただければ、ということになりました。今回、武豊町様に寄付をお願いしたのは、私たちの業務と関係の深い「公益財団法人 愛知臨海環境整備センター（ASEC）」が運営される地であり、なおかつ、武豊町の『第6次武豊町総合計画』策定の内容が、都市環境整備、災害への意識、環



左から 永田委員、金田支部長、粕山町長、近藤副町長



左から 永田委員、金田支部長、粕山町長

境配慮の町づくり等から、「環境の町・武豊町」として感銘を受け、5市5町の中で一番最初に寄付をお願い出ましたのが理由になります。特に金田支部長からの願いが強かったこともあります。

金田：これまで知多半田駅の前で不法投棄防止活動として駅の乗降客の方や通行人の方に向けて、不法投棄防止啓発メッセージ入りのティッシュを行政の方と一緒に配ったり、不法投棄防止パトロールを行ってきました。しかし、コロナ禍から人が集まることは感染拡大につながるということから、支部会員の皆さんと相談し、寄付という形で不法投棄防止、防災へのご支援として地域の皆様に役立てていただきたいということになりました。

粕山町長：日頃は環境保全にご協力いただきありがとうございます。不法投棄防止活動は民間でも地域や個人でも活動されていますので、今回戴きましたご寄付はそのような活動に当てさせていただきたいと考えております。ありがとうございました。

金田：私も武豊町民の皆様の環境保全に寄与することができ感慨深いです。この場をお借りしてもうひとつ、災害廃棄物の処理について、今年の4月、2年ぶりに「災害廃棄物処理のための行政との合同会議」を開催し、その折半田市の担当者様と協会の特

別委員会の方々及び尾張南支部会員で作成した『半田市災害廃棄物処理の仮置場の運営マニュアル』を発表しました。引き続き、尾張南支部管内、半田市以外の4市5町の行政の環境部署に携われるご担当者と一緒に、災害廃棄物の仮置場運営マニュアル作成に向けてご協力していくこと、それが私たちの目標でもあります。これまで災害廃棄物処理に関しては、東海豪雨を始めとして千曲市へ災害廃棄物処理の応援に出向くなど、全国多数の支援に伺った経験から、発災直後の初動対応が時系列に構築され、仮置場の効率的な運営、災害廃棄物の迅速な処理、リサイクル率を上げる処理技術等、一連の流れから最終的には災害廃棄物処理費用を抑えることを目標としております。愛産協には産廃処理の専門家が会員に多数おりますので、是非ご検討いただければと思います。

近藤副町長：うちも災害廃棄物処理計画があり仮置場を予定している所がありますが、まだ現実化していない状態です。そういった意味では、災害廃棄物処理計画は無くてもならないので、今後ご協力いただければ仮置場の運営マニュアル作成に向けて調整していきたいと思っています。

金田：現在、名古屋支部は名古屋市、尾張北支部は豊明市、尾張南支部は半田市、東三河支部は豊橋市と、連携して仮置場の運営マニュアルを作成しました。他支部においても現在調整中のところもあります。運営マニュアルは実践に即して作成されていますので、仮置場周辺道路の渋滞を避けるための災害廃棄物の搬入経路、ガードマンをどこに配置するのか、それを誰が準備するのか等、発災時に混乱しないように細かく、行政担当者と特別委員会と支部会員で作成していきますのでご安心ください。

粕山町長：今後、仮置場の候補地も含めて、いざという時に困らないよう、地域防災を含めた災害廃棄物処理計画の策定を進めていきたいですね。

金田：これまでの処理支援の報告から、発災直後の3日間が勝負だという事例があります。“初動が命”この言葉に全てが集約されています。

粕山町長：東日本大震災の時は、5町の町長で東北の被災地を視察に行きました。被災地域によって復興が早い地域と遅れている地域の違いを感じ、何故復興の早さに違いがあるのか、という疑問はありました。しかし、いま金田支部長のお話を伺い、一概には言えませんが、初動対応の遅れが、復興の遅れにつながったのかもしれないですね。当町においても災害廃棄物処理の対策をしないといけないと、被災地の視察に伺って痛感致しました。

金田：私たちは微力ではありますが、産業廃棄物処理のプロとして地域へ貢献したいという強い想いがありますので、是非仮置場の運営マニュアル作成に向けてご協力のほど宜しくお願い致します。

粕山町長：こちらこそ本日はありがとうございました。

金田：今後も顔の見える関係づくりを宜しくお願い申し上げます。



寄付の贈呈の様子は、武豊町長ブログ「粕山芳輝の日記」内で（↓画像）紹介していただけ、広く町民の皆様にも周知していただきました。



午後4時15分

一般社団法人愛知県産業資源循環協会の尾張南支部長の金田並びに武豊町の会員代表の永田様にお越しを頂きました。

協会の活動として、これまで知多半田駅周辺で不法投棄防止の周知活動を展開されてこられました。令和4年度より5市5町の不法投棄防止事業に活用して頂くという事業方針とされたとのことでありました。



環境の町を標榜しています。武豊町をトップに選定して、20万円のご寄付を頂きました。

不法投棄防止活動に役立てたいと思います。早速、お礼状をお渡しさせて頂きました。本日は、残暑厳しき折、お越しを頂き大変ありがとうございました。